

ことばかけのヒント



子育てをしている中で、「ことばが遅いんです」とか「なんて言葉かけしたらいいかわからなくて」という事をよく聞きます。そこで今回は、ことばかけのためのヒントを考えていきましょう。

ことばは、人と人との関わりの中で、気持ちが動くことで声を発したり、周りの大人の真似っこをしたりして、習得していきます。今回は、その関わり方をいくつか紹介します。

①

あかちゃんの動きをまねてみる

赤ちゃんは自分と同じ動きをしてくれるおとなに興味を持ち、おとなの様子を観察しながら、さそいかけてきたりします。



②

あかちゃんの出す声や音を真似てみる

赤ちゃんがご機嫌な時に出す「あーあー」「ブーブー」といった声を真似してあげると、「音を出す」ことを楽しむようになります。

③

あかちゃんの気持ちをことばで言ってみる

赤ちゃんがおやつを食べながら幸せそうな顔になったら「おいしいね」と言ってあげましょう。



④

おとなが自分の行動をことばで言ってみる

「いっしょにねんねしようね」「お布団ふかふかで気持ちいいよ。」などと自分の行動を口にする、そんな大人の姿を見て、ことばの意味を知ようになります。

⑤

間違えたことばをさりげなく直す

子どものことばに間違いがあっても、言い直させたり、訂正するのではなく、さりげなく直して返してあげましょう。



⑥

子どものことばを広げてかえしてあげる

子：「うさぎ！」
母：「ほんとだ、ピョンピョン跳ねるうさぎだね、楽しそうだね。」というように、話題を少し広げて返してあげましょう。